

有限会社インテリアナガオカ

企業概要

有限会社インテリアナガオカは創業1971年、滋賀県米原市にあるカーテン専門の縫製所。長年に渡って「きれい」「丁寧」な仕事を心がけ、高い縫製技術を持った家族を主軸としてスタッフ一丸となってひたむきにカーテンに取り組み続けている。

代表者：細田 弘
創業年：1971年11月
事業内容：カーテン縫製、特殊カーテン製造
従業員数：30名

住所：滋賀県米原市西山151
電話番号：0749-55-1149
HPアドレス：<https://www.i-nagaoka.jp/>



高性能光触媒を使用した自社製品「AIRPURIC（エアピュリック）」



AIRPURIC（エアピュリック）は、ほのかな光で反応する高性能光触媒を定着させた最高峰の清浄機能をもつ高機能カーテン

インテリアナガオカが独自開発に成功した、世界で初めての高機能カーテン。太陽光が届かない薄暗い室内や夜間でも、カーテンを掛けるだけで上質な清浄空間をつくれます。清潔さはもちろん、抗菌・抗ウイルスが求められている昨今、ホテルや学校、福祉施設など感染防止や消臭の必要のある場所などあらゆる空間で求められています。

またメンテナンスの必要もなく清浄機能を保ち続けます。

「繊維の将来宣言」Pick Up!

自社の強みを生かした経営で価値を高める

- ・細かいオーダーに対応できる、手作業を伴う高い縫製技術を持つ職員の存在により、安定したパフォーマンスで製造が可能
- ・納期や製造ミスを防ぐために、国内で唯一バーコード管理システムを導入

繊維産業が技術とクリエイティビティが融合する最先端の分野であることを広く発信する

- ・高性能光触媒による抗菌とメンテナンスフリーな自社製品「AIRPURIC」を開発
- ・AIRPURICは縫製後の加工カーテンとして初めて、SEK※抗菌防臭加工に認証
- ・カーテンの他にも、ソファやクッションの生地など幅広く展開

※SEKマークは一般社団法人繊維評価技術協議会が実施する認証制度。

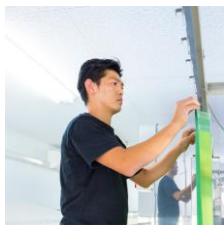
評価方法・基準、安全性などに厳しい基準が設けられ、合格した商品のみがSEKマークを表示できる。物性評価は滋賀県立大学との連携により実施。

あらゆる分野で繊維の可能性を探究し、常に新しく付加価値の高いものづくりを実践することにより、素材革命を起こす

- ・自社の持つ高い縫製技術を応用し、グランピングテントの縫製へ挑戦

取 組 紹 介

【高い縫製技術を活かして安定したパフォーマンスで製造が可能】



代表取締役社長である細田 弘氏は、国家資格である「二級内装仕上げ施工技能士」の資格を持ち、また、長男の細田 誠氏は「一級内装仕上げ施工技能士」、妻と三男も「二級内装仕上げ施工技能士」の資格を取得しており、ベテラン従業員の退職などによる技術の低下を抑え、常に安定した縫製技術を提供することが出来ます。一方で、地域の子育て世代主婦層の雇用も積極的に行い、地域に根ざしたかたちでの事業展開にも力を入れています。

【高性能光触媒による抗菌とメンテナンスフリーな自社製品「AIRPURIC」】

「高性能光触媒」をカーテン表面に露出させて定着させる新技術により、従来品にはない高い性能を発揮させます。面積が大きいカーテン全体に定着させることで、より効率良く清浄空間をつくれます。

既に導入された福祉施設や介護施設、保育園等から「消臭効果があり、汚れが付きにくく丈夫」、「施設特有の匂いがなくてよい」と大変好評を得ています。



些細なことが大事なこと

当社の品質は業界スタンダードを更新し続けています。縫製したカーテンの形が崩れないよう、ひとつひとつのヒダを丁寧に折りたたみ箱に梱包して出荷する「ヒダたたみ」を始めたのは、インテリアナガオカからの提案によるものです。窓に掛かるまで美しい状態でお届けするために、作業床に埃ひとつ残さない掃除の徹底をはじめ、サイズ管理、縫製、加工、梱包まで、できることを全て行うものづくりに取り組み続けています。



新分野への挑戦

【自社の持つ高い縫製技術を応用し、グランピングテントの縫製へ挑戦】



中小企業庁の事業再構築補助金制度を活用し、長年培われてきた縫製技術をもとにグランピングテントの製造にチャレンジします！

近隣のキャンプ場からテントの修理依頼が、過去から度々あったことをきっかけに、また昨今のキャンプブームを受け、グランピングテントの製造にチャレンジします。自社の持つ縫製技術とAIRPURICで培われた「高性能光触媒」技術を組み合わせ、メンテナンスし易く快適なグランピングテントの製造を目指しています。

経営者からのメッセージ

カーテン業界に限らず、繊維業界全体として価格競争の波に苛まれております。単純に良い物を作れば売れるという時代ではもはやありませんので、他よりも突出した特徴のある製品を作っていかなければ競争の波に飲まれてしまうものと考えております。当社は熟達した縫製技術を継承していくとともに、常に進化を忘れないようにひたむきにもものづくりに励んでいきます。

(代表取締役社長 細田 弘)

